



2024年2月9日

各 位

会社名 JUKI株式会社
代表者名 代表取締役会長CEO兼COO 清原 晃
(コード番号 6440 東証第一部)
問合せ先 コーポレートオフィサー
財務経理部長 南 大造
(TEL. 042-357-2211)

通期連結業績予想と実績との差異及び 繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

2023年11月6日公表の2023年12月期通期の連結業績予想と本日公表しました実績に差異が生じたのでお知らせします。

また、2023年12月期において、下記のとおり繰延税金資産の取り崩しを行うこととなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1.業績予想と実績との差異について

2023年12月期 通期連結業績予想と実績との差異(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 96,000	百万円 △ 2,300	百万円 △ 2,800	百万円 △ 4,300	円 銭 △ 146.52
実績値 (B)	94,750	△ 2,699	△ 3,684	△ 7,035	△ 238.54
増減額 (B-A)	△ 1,250	△ 399	△ 884	△ 2,735	—
増減率 (%)	△1.3%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	117,454	2,858	1,163	△ 78	△ 2.66

差異の理由

前回予想対比、中国・東南アジアの設備投資需要の回復が遅れ売上が減少したことに加え、在庫削減の観点から生産調整を徹底し工場稼働率が低下したことなどにより、営業損失および経常損失は前回予想値を下回ることとなりました。

また、現在推進中のスリムで高効率な事業体制を構築するための工場再編等を睨み、固定資産減損等による特別損失を計上し、加えて繰延税金資産の回収可能性を見直し一部を取り崩したことから、親会社株主に帰属する当期純損失も前回予想値を大幅に下回ることとなりました。

2.繰延税金資産の取り崩しについて

今回、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収が見込めない部分について取り崩すこととし、1,655百万円を法人税等調整額に計上しております。

以上